

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1

電話：74-0212 FAX：74-0105

E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

新年の「あいさつ」

日野町公民館長 長谷川 司

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、公民館運営および各種体験事業の実施にあたり、利用者の皆様をはじめ、公民館運営審議会委員、講師、ボランティア、そのほか多くの皆様に大変お世話になりました。心からお礼申し上げます。

公民館は生涯学習の拠点および地域づくりの核として、人が集うこと、学ぶことのきつかけづくりに日々取り組んでいます。

その一つとして、地域へ出かける「出前公民館」事業を目玉に、元気な地域づくりを推進しています。今年も皆様との出会い、仲間づくり、地域づくりを楽しみにしております。

公民館に人が集い、心が通い、たくさんの笑顔の花がいつぱい咲きますよう、公民館職員一同心を新たに頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

後世に伝えよう、日本の文化

▼しめ縄とミニ門松づくり教室

12月26日、小学生の冬休み体験教室として、和田佳洋さん（小河内）、石田三千人さん（下樓）、坪倉敏さん（中菅）を講師に、しめ縄とミニ門松づくり教室を開きました。

まず始めに、しめ縄の作り方を和田さんと石田さんから教わりました。

しめ縄を縛うわらに水をつけ、叩いてやわらかくする作業から説明し、参加者は一つ一つ指導を受けながら取り掛かりました。ほとんどの参加者が初めてしめ縄を作るということでしたが、回を重ねることに上達、一人でたくさん作る人もありました。



子どもたちに技を伝授



それぞれの作品を手に

しめ縄が終わると、ミニ門松づくりを坪倉さんに教わりました。坪倉さんも門松を作ったのは初めてということでしたが、素晴らしい見本を作ってくれてもらい、それを見ながら参加者全員が見よう見まねで楽しみながら作りま

した。しめ縄づくりは小学生には難しいのではないかと思いましたが、保護者と一緒に楽しんで作り、満足していた様子でした。

会場は和気あいあいとした雰囲気でも楽しくできました。

応援し合い、 きずなを深め仲間づくり

▼おしどり学園

12月18日、第9回おしどり学園を開きました。

今回は、「ニューススポーツ体験」とし、用具を米子産業体育館やD.O.スポーツから借りたりして4種目に挑戦しました。

当日は大雪になりましたが、多くの学園生が参加しました。このニューススポーツは8月にも挑戦しており、前回の様子を思い出しながら話に花が咲きました。

また、「グループ講座「健康」では、役場健康福祉課の田貝嘉彦係長による「けん玉講座」を開催。基礎から華麗な



笑いを交えた楽しい講座

おしどり学園のご案内

学園生以外の人でも気軽に学んでみませんか

日時 2月26日(金) 午前9時30分～
場所 町公民館
内容 「歌と合奏」※講師の都合により
内容が変わる場合があります
その他 当日は町営バスを臨時運行します。
詳しくは町公民館までお問合せください



技まで楽しくけん玉に触れ合いました。参加者全員に認定証が贈られるなど本格的な講座となりました。

よい土を作るためには、 安全な堆肥づくりから

▼健康と安全の野菜づくり教室

12月19日、第2回健康と安全の野菜づくり教室を開きました。

11月8日に開いた第1回の教室では良い土づくりの基礎を学びましたが、今回は具体的な土づくりの方法について学びました。

講師は、前回に引き続き日野高校の木村三三男さん。木村さんは、まず堆肥について説明しました。「堆肥はわらや落ち葉、野菜くずなどを発酵させたもので、白い菌が舞い、いやな臭いもせず、良い土壌づくりにおいて欠かせないもの」とのこと。

また、「堆肥と化学肥料を比べると、化学肥料は即効性はあるが、昆虫やミミズなどには害になり、使い続けられ土壌が荒れてしまう原因となるもので、なるべく使わないほうがよい」「堆肥は即効性はないが、昆虫やミミズなどの栄養分になるため、野菜づくりに適した土壌づくりには欠かせない」と強く訴えました。そして、具体的に堆肥の作り方や日野高校での実践を説



多くの人が参加

明、参加者の野菜作りを応援しました。



毎月第3日曜日は「家庭の日」

家族みんながそろって、
ともにうちとけた楽しい会話や
気持ちのよい汗を流すなど、
家族団らんの一日を
過ごしましょう。

日野町青少年育成会



町青少年育成会活動報告
冬休み夜間街頭指導
パトロールを行いました

町青少年育成会(生田英明会長)では、12月25日、児童生徒の冬休みに根雨周辺を歩いてパトロールを行いました。最近は大きく目立った非行などは見られませんが、犯罪の抑止力を目的に活動しています。

当日は、16人が2つのコースを約1時間かけてパトロール。青少年育成の関係者が連携し、さらに育成活動を強固なものにするよう誓い合いました。